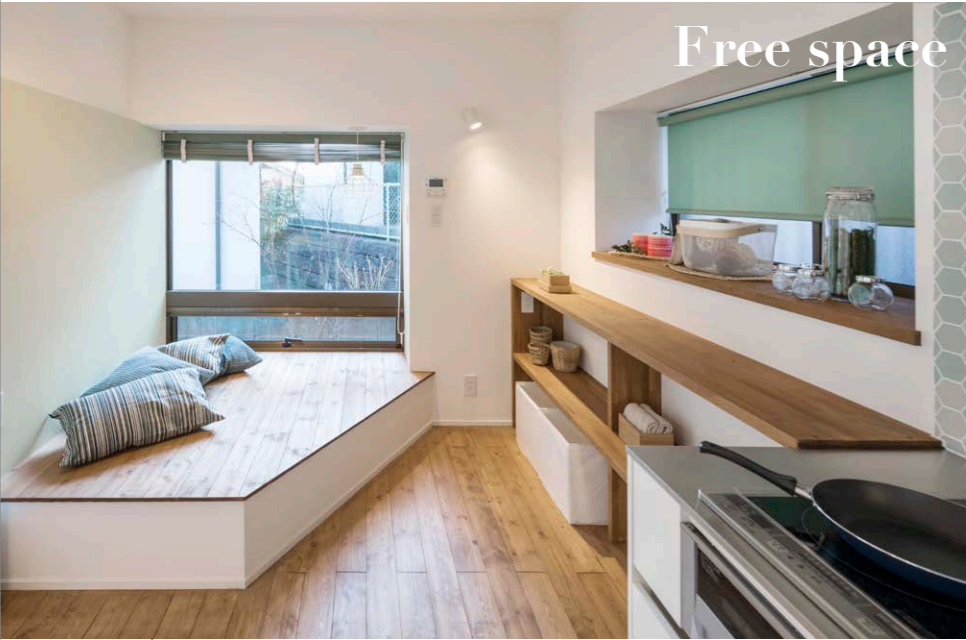


CONCEPT

“小上がりのファミリースペースから望むもみじの家”

Free space



ファミリースペース/夜は軽くお酒が飲めるようダウンライトでライティングし、小さいけれどファミリースペースとしてつるつるするような配置にしています。

せ っかく開いた南面を生かすため、小上がりを設け、窓は両開きのピクチャーウィンドウに。テーマは「小上がりのファミリースペースから望むもみじの家」です。狭く使いづらかったリビングはダイニングキッチンと一体化し、広いLDKに。ホール部分もリビングに取り込むことでさらに広い空間を確保しました。また、2階寝室はベッドスペースの座を上げ、間接照明を設置することで和室を柔らかく照らします。洋室と互い違いに配置されていた押し入れは繋げて寝室のクロークに。2つに分かれていた洋室を1つにして大きな洋室にしました。子ども部屋としても、DIYスペースとしても使用できるので、住んでいる人の想像力を掻き立てます。また、入り口や窓は生かしてあるので、将来的に部屋を分けることも可能です。余白を利用して新しい価値を創り込む。その後新たに余白が生まれたらまた新しい価値や暮らしを加えていく。この考えこそが「ori_ie」に通じるポリシーです。

デザイナーのこだわり

コンサルとして10年間の学びを妄想した想いを「おりいえ」として初めての作品です。用意された箱に、食卓とキッチンがセットされたのみというシンプルなダイニングキッチンを、ファミリースペースとしてくつろげる空間に変えました。またリビングも、6帖から8帖の快適な空間へ変化させ、かつ梁として残った古材はそのまま活かしてインテリアの一部にしています。「使いづらい」を「使いやすい」に。そして将来への余白も残した家です。

リビング/和室とダイニングに挟まれた居間。そんな印象の居間をダイニングキッチンとつなげることでリビングとしての機能へ変化させました。その際、梁として残った古材はそのままインテリアの一部として生かしています。また、4枚引戸の襖は和室とのつながりも確保できます。



Kitchen & Dining

キッチン&ダイニング/外へのつながりのため、両開きの出窓をピクチャーウィンドウとし、通風はピクチャーウィンドウ下へ流れる横滑り窓に。

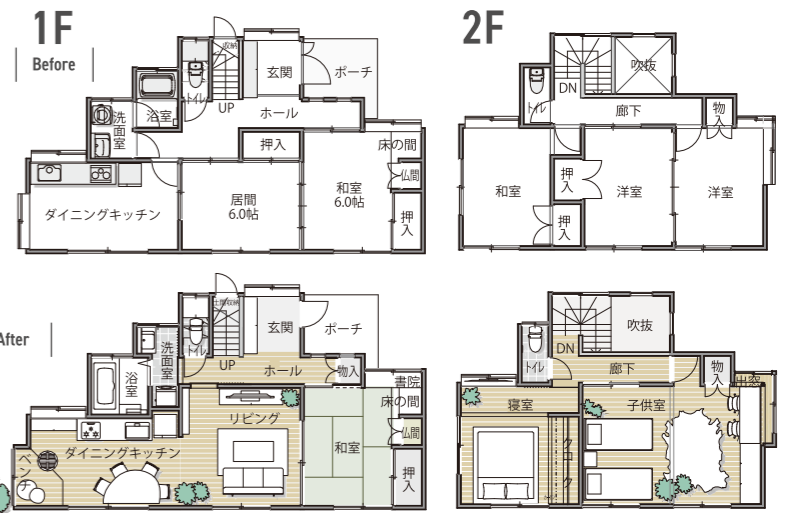
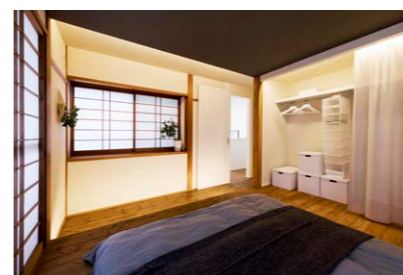


Before

リノベーション前は、用意された箱に、食卓とキッチンがセットされたのみという、いたってシンプルなダイニングキッチン。せっかく南面が開いているのにこれではもったいない!この発想がリノベーションのスタートでした。



寝室/昔ながらの中途半端感あふれる和室。この和室の趣をそのままに座をあげ間接照明とフロアスタンドで眠りを楽しむ空間に仕上げました。間接的な人工照明と障子から入る自然光によって心地よい眠りを導いてくれるはず。



LIVING ROOM



子ども部屋/リノベーション前は子ども部屋でしたが、2階リビングとするもよし、家族の成長に合わせてDIYで変化を加えるのもよし、元の通りに子ども部屋として使用するも良しの自由な空間です。家は今が全てではありません。家族の成長とともに思い出を創り、部屋も変化していくのです。そのため最初から造り込む必要などありません。ここは自分らしい暮らしの「余白」です。